

(様式第2号)

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

提出区分	実績	整理番号	12	課題区分	C	令和8年(2026年)4月16日
横断的な課題	伝統を守り未来を見据えた持続可能な地域づくり					南信州地域振興局
地域重点政策	伝統を守り未来を見据えた持続可能な地域づくり					
実施機関	南信州地域振興局					
事業名	インバウンド向け伝統的工芸品PR事業	担当課	所属	商工観光課		
			電話	0265-53-0431		
			E-mail	minamichi-shokan@pref.nagano.lg.jp		
事業の概要	目的 (目指す姿)	南信州の伝統的工芸品について広く周知する。長野県のインバウンド向けにPRするため、他地域振興局と連携しながらホテルや駅での展示を行う。				
	現状と課題	阿島傘は喬木村の阿島地区を中心に生産される和傘であり、400年の歴史がある。全盛期は江戸時代後半、明治40年代、昭和20年代で、最盛期には100件以上の傘屋があったが、洋傘の普及により現在生産しているのは2件である。生産者の「菅沼商店」、「阿島傘一凧」、地域で阿島傘保存活動している「傘の会」を中心に、阿島傘は長野県伝統工芸品の指定を目指している。 今年は喬木村発足150周年の年であり、9月28日のイベントに向け、日本で2番目に大きい和傘を活用するなど、村全体で傘を活用して盛り上げている。 年末に行われた知事の南信州執務週間において、阿島傘関係者と懇談を実施した結果、阿島傘を含む南信州の伝統的工芸品について、海外への情報発信の必要性について意見が出され、県内でもインバウンドが進んでいる北アルプス、佐久地域振興局と連携してインバウンド向けにPRを行う必要性を認識した。 水引については、当地域内では認知度はあり、令和7年(2025年)にはご水引をモチーフとした図柄当地ナンバーが発行される予定。 一方、信州の伝統工芸リブランディング潜在力全国定量調査(令和4年度長野県委託事業)によると、県内の認知度は62.0%に対し、全国における認知度は13.3%とまだまだ改善の余地があるため、県外におけるイベントでノベルティグッズとして配布することで飯田の伝統工芸品である水引を広く周知する。 令和6年度購入した飯田水引及び阿島傘を使用し、インバウンド向けのPRを実施する。				
	内容 (変更後の内容)	・北アルプス、佐久地域振興局と協力し、白馬及び軽井沢の外国人を含む県外の観光客が集まる場所(ホテルや駅など)でスノーシーズン、グリーンシーズンに訪れたインバウンド向けに、南信州の伝統的工芸品を展示しチラシ及びグッズの配布を行う。 軽井沢 <時期> 令和7年9月27日(土)から28日(日) <場所> 軽井沢ショッピングセンター展示・販売。 白馬(五竜ナイト) <時期> 令和8年1月9日、15日、16日、19日、21日、23日(期間中、県営業局が参加しない4日に参加) <場所> 白馬エスカルプラザ(エイブル五竜) (阿島傘の展示販売、飯田水引の展示、ストラップ配布によるPRを実施) 熱海(軽井沢ホテル組合で周知した結果、ホテル音羽ノ森からの依頼で追加) <時期> 展示期間令和8年1月～2月(うち現地調査2月16日～17日) <場所> 熱海ホテル 渚館 宿泊者に対して、Formsによるアンケートを実施				
事業期間	令和7年4月 ～ 令和8年3月					
事業費等	(単位:円)					
	事業を構成する細事業名等	実施内容	実績額	備考		
	インバウンド向けPR用展示什器	ホテル等での伝統的工芸品展示	157,008	158千円(傘ラック3個 44千円、水引アクリルケース5個 114千円)		
	インバウンド向けノベルティグッズ作成	100セットは宿泊者向けアンケートフォーム付	201,255	水引グッズ作成1000個 198千円 チラシ3,255円(カラーコピー代)		
	軽井沢プリンス・ショッピング・プラザ展示	イベントスペース使用料	110,000	2日分税込(55,000円/日) (9月27日、28日)		
		職員旅費(軽井沢)	56,280	57千円(軽井沢1泊1往復)2名分 打合せ1往復分		
	白馬エスカルプラザ(エイブル五竜)	職員旅費(白馬)	95,656	132千円(白馬村3泊2名3往復)		
	熱海ホテル展示(ホテル渚館)	職員旅費(熱海)	57,170	68千円(宿泊1泊2名、車利用)		
合計		680,036				
指標及び達成状況	成果指標		目標値	成果	達成状況	
	展示会場において、伝統的工芸品が購入されること		5点以上	26点	● 達成	
					○ 一部達成	
					○ 未達成	

事業実績・成果	<p><インバウンドを含む観光客へのPRを実施></p> <p>1 軽井沢・プリンスショッピングプラザでの伝統工芸品展示・販売(令和7年9月27日～9月28日) 会場に阿島傘や飯田水引を展示するとともに、関係事業者様にご協力をいただき、阿島傘の「ミニ傘」や飯田水引の「のし袋」などを販売した。多くの来場者に南信州の伝統的工芸品の魅力を伝えることができた。</p> <p>2 白馬エスカルプラザ「五竜ナイト」での伝統工芸品展示・販売(令和8年1月16日、19日、21日) 白馬に宿泊するインバウンド(主にオーストラリアからの修学旅行生)を対象に、日本ならではの体験や商品を提供する目的で開催された「五竜ナイト」において、阿島傘や飯田水引を展示した。阿島傘を使用した写真撮影や水引の体験により、南信州の伝統的工芸品のPRを行った。</p> <p>3 熱海ホテル渚館での飯田水引展示(令和7年12月24日～令和8年4月6日) 長野県に本社を有する熱海市内のホテルにおいて飯田水引を展示し、館内の雰囲気向上を図るとともに、飯田水引のPRを行った。併せてアンケート調査を実施したところ、回答率は高くなかったものの、ホテルの空間演出および飯田水引に関して一定の評価を得ることができた。</p>
今後の方向性	<p>軽井沢のショッピングモールにおいてインバウンド向けPRを実施したが、外国人旅行者の来訪数は想定を下回り、当初期待していた効果を十分に得るには至らなかった。</p> <p>一方、展示を行ったホテル、ショッピングモール、伝統的工芸品事業者からは、体験型イベントの実施がより効果的であるとの意見・提案が寄せられた。</p> <p>今後は、県内外のインバウンド来訪者が多く集まる場所において、ワークショップ等の体験型イベントを開催し、南信州の伝統的工芸品のPRを行うとともに、販路開拓につなげていく。</p>